
岐阜県立関高等学校

校長 林 雅浩

学校住所 関市桜ヶ丘2-1-1

電話(0575)22-5688

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和4年2月8日（火）
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

会長	大野 正博	（朝日大学法学部 教授）
副会長	福田 恵介	（福田刃物工業株式会社 取締役）
委員	平田 久美子	（平田建設株式会社 取締役）
	森 小百合	（関市 健康福祉部長）（ご欠席）
	神谷 泰久	（関高等学校同窓会 副会長）
	上村 秀史	（関高等学校 P T A会長）（ご欠席）
学校側	林 雅浩	校長
	高田 幸世	教頭
	小林 竜二郎	教頭
	寺倉 新一	事務部長
	川原 正史	教務主任
	五島 興	生徒指導副部長
	片桐 良子	進路指導主事
	林 直樹	研究推進部長
	國枝 英俊	特別活動部長
	岩田 拓弥	教務部（記録）

5 会議の概要（協議事項）

【協議1】スクール・ポリシーの承認について

- ・第2回の学校運営協議会で意見交流した「スクール・ポリシー（案）」について、再度学校で検討し、最終案について、書面により学校運営委員全員の承認を得た。

【協議2】令和3年度自己評価に対する学校関係者評価

意見1：当該自己評価は、現状をしっかりと把握し、課題を的確に認識して対応策を示していることから、評価できる。地域の課題解決等を実践していくことは、座学の重要性を生徒が気付くきっかけになるだけでなく、今後の大学入試選抜方法の変革にも対応できることから、さらに推し進めてほしい。中学・高校時代の成功体験は、進学・就職等により、いったん地元を離れたとしても、将来的には、地元へ貢献したいという心を育むものであることから、大変重要なものである。

また、外部コンテンツの利用の検討も高く評価できる。新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、社会が大きく変わる中で、Society 5. 0時代の教育を施していくためには、ICTの更なる活用が学校現場で強く要求される。ただし、ICTを活用しながらも、人間性に富んだ人材を育成していくためには、日常における地域との関わりが重要であることから、生徒指導においても、さらに力を注いでほしい。

意見 2 : 学力向上、身だしなみ、いじめの問題、FRH 活動、グローバル人材育成等様々な問題に取り組んでいることに感謝する。今後は学校運営協議会が学校の方針を理解し、「学力向上」「課題解決力向上」等に焦点を絞って学校側を支援したい。外部からの様々な要望や規制もあるが、教員がのびのびと楽しくしていることが生徒に伝わるとよい。

今後少子化に伴って生徒数の確保が困難になっていくことを考えると「バランスのよい教育」より「他校とは違う突き抜けた教育」を目指すことも必要である。

意見 3 : 限られた時間の中で、またコロナ禍という特殊な状況の中で、本校の先生方は本当に生徒の為に尽力している。そこが近年の高い進学実績にも表れている。地域のリーダーを輩出するトップ進学校としての方向性は間違っていないと思うので、学力、人間性を共に向上させる指導をこれからも継続してほしい。地域との連携に関しては、もっと地元企業や各団体等を頼るとよい。

意見 4 : キャリアプランニングを意識した指導継続はとても大切なことであるが、就職して終わりではない。その先の夢もイメージさせなければならない。大学を出た先の広がりをも具体的に聴く、知る機会が1年生のうちから数多くあるとよい。

令和3年度については、コロナ禍でありながら、よい活動が展開できており、総合的にもよかったと感じている。学校の努力が感じられる。

意見 5 : 学校の抱える課題、今年度の基本的な重点目標達成のための評価項目が適切に分類されており、現状に即した評価と先生方の真摯な対応に感謝する。常に理想を掲げ、課題達成のため、日々の錬磨に心がけてほしい。一步一步の活動が学生に着実な成果として結実していくことを願う。

意見 6 : 挨拶の習慣が更に向上するとよい。本校は比較的挨拶が少ないと思われる。

日本と外国の価値観、考え方、常識、風習などの根本的な違いを生徒にしっかり伝えるべきである。あらゆる分野での留学経験者の講義があってもよい。

成績低下の影響などを理由に部活をやめる生徒がいるようだが、高校生活では勉強以上に継続する力が大切である。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会において、「スクール・ポリシー」について、委員全員より承認を得ることができた。「令和3年度自己評価・学校関係者評価」については、委員からの意見をまとめ、来年度の学校運営へ反映させる。